

# 題材あらすじ

## BLUE MARBLE English Communication II

総語彙数 (Optional Lesson含む) : 1,931 / 新出語 : 713 / 総語数 : 8,242

### ● Lesson 1 (576 語) [社会・人生] [SDGs 10]

#### Leadership in Modern Times



かつてのリーダー像とは「強くて周りを導く人」であったが、その姿は変わりつつある。現代に求められるリーダーシップのスキルについて考える。

### ● Lesson 2 (561 語) [地理・文化] [SDGs 11]

#### The Diversity of Traditional Houses



日本の木造家屋、地中海の白壁の街並み、モンゴルの移動式住居ゲルなどを通して、伝統的な家屋の役割について考える。

### ● Lesson 3 (615 語) [福祉・科学] [SDGs 3, 4, 9, 10]

#### Improving Society with Avatar Robots



学校に行けず寂しい思いをした経験から、吉藤健太郎は社会の孤独を解消するロボットを作り出す決意をした。彼が生み出した「分身ロボット」を紹介する。

### ● Lesson 4 (617 語) [環境・社会] [SDGs 2, 3, 12]

#### Approaches to Food Waste



日本の食品ロスの現状についてプレゼンテーション形式で学ぶ。また、無駄な廃棄を減らすため、私たちが日常的にできる取り組みについて考える。

### ● Lesson 5 (600 語) [動物・福祉] [SDGs 3, 10]

#### Animals as Indispensable Partners



近年、動物が人々を癒す効果が注目されている。私たちのよりよい暮らしと社会をサポートしてくれる動物たちについて学ぶ。

### ● Optional Lesson 1

#### The Good, the Bad and the Emmy (1215 語)

演劇学部の学生が苦い失敗を経て、エミー賞を受賞するまでのサクセスストーリー

### ● Lesson 6 (640 語) [言語・文学]

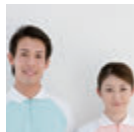
#### An Irish Poet on a Mission



アイルランド出身の詩人マクミランは、日本古典文学を英訳し、その美しさを世界に広めようとしている。彼の活動を通して、日本文学の魅力について考える。

### ● Lesson 7 (635 語) [社会・人権] [SDGs 4, 5, 8, 10]

#### Be Free from Gender Bias



私たちの社会は「男性だから」「女性だから」という性的役割にとらわれた偏見や固定観念があふれている。誰もが自分らしくいられる社会について考える。

### ● Lesson 8 (649 語) [国際・平和] [SDGs 2, 3, 4, 16]

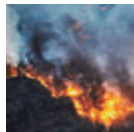
#### The Diminutive Giant Who Fought for Refugees



緒方貞子は世界中の紛争の現場に自ら赴き、難民保護に尽力した。「小さな巨人」と称賛された彼女の功績とその信念から、人道支援のあり方について考える。

### ● Lesson 9 (690 語) [環境・科学] [SDGs 13]

#### Tackling Global Warming



地球温暖化の新しい対応策である、気候を人工的に操作する科学技術「ジオエンジニアリング」について学び、未来の地球のためにできることを考える。

### ● Lesson 10 (664 語) [人生・心理]

#### Keys to Finding Happiness



お金の使い方や人間関係の視点から、幸せを感じることもできるコツは何かを学ぶ。そして自分に合った幸せを切り開く方法とはどのようなものかを考える。

### ● Optional Lesson 2

#### The Tales of Ise (780 語)

『伊勢物語』：ピーター・マクミランの英訳による平安時代の歌物語